

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さんが、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益になることはありません。

研究課題名	前眼部OCTを使用した白内障術後の眼内レンズの位置予測
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	金沢医科大学病院 医療技術部 心身機能回復技術部門 視能訓練士 三田哲大
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022年3月
対象者	2016年6月から2021年4月までに金沢医科大学病院で白内障手術を受けた 20歳以上100歳未満の方
当該研究の意義・目的	眼内レンズの位置を評価する項目としては、前房深度、偏心、傾斜があり、前房深度は白内障術後の屈折値（球面）に影響し、偏心と傾斜は乱視に影響すると言われております。また、偏心や傾斜の増大は白内障術後の視機能低下を起こすと言われており、白内障術前にこれらの因子を予測することが可能になれば、白内障術後の視機能を知るうえで極めて有用な情報になります。今回の目的は前眼部OCTから得られる解剖学的形状と眼軸長から眼内レンズ挿入眼について術後の前房深度、傾斜および偏心を予測することが可能かどうか検討することです。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は前眼部OCT画像と眼軸長および角膜径の数値を取得することにより後ろ向きに白内障術後の前房深度・偏心・傾斜を予測する式が作成可能かどうか検討します。 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に得られた検査データなどを本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 眼科 視能訓練士 三田哲大 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511内線（7301）

作成日： 2020年2月13日